



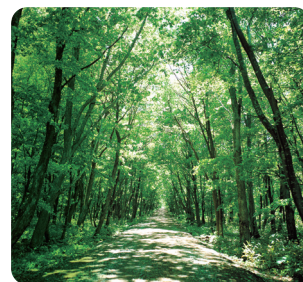
2011 国際森林年 森を歩く



「国際森林年」について

世界の森林では、1990年から2010年の20年間で日本の国土面積の約4倍にもものぼる森林が失われています。また、1992年に開催された「地球サミット」後、生物多様性の減少、砂漠化の進行、地球温暖化など、地球規模での環境問題が関心を集めています。森林はそれらの問題と密接に関係し、2011年は「国際森林年」とされました。

日本は、国土に占める森林の割合が世界第3位という豊かな森林をもっています。ところが、こうした森林に必要な手入れを行えなくなってきたのが実状です。森林は木材を生産したり、国土を保全したり、地球温暖化防止や生物多様性を保全するなど、私たちの生活に欠かせない様々な機能をもっています。その機能を十分に発揮させ、さらには山村地域における雇用を生み出す林業を、再び元気にする必要があります。また、山村に生きる野生生物の生態系バランスが変わり、病害虫による森林の被害、野生鳥獣による森林や人里への被害が増加していることへの対応も重要です。日本で大切なことは、「国際森林年」をきっかけに、豊かな森を守り育てていくこと、またそのためには一人ひとりが行動することです。そのために、「国際森林年」では、皆さんが住む自治体や、企業、市民団体などが、様々な活動を各地で企画・実施しています。私たちが、これらのイベントに参加することが、元気な森をつくる大きな一歩となります。私たち一人ひとりが国内外の森を元気づける活動の主役なのです。



国連による国際森林年の取組

2011年1月24日～2月4日、ニューヨークの国連本部において、第9回国連森林フォーラム会合が開催され、国際森林年が公式にスタート。国連では、ロゴマークやウェブサイトの運用のほか、国際森林映画祭や記念切手の発行、森林に関わる功績者への顕彰、プロモーションビデオの作成を企画・実施しています。このような国際的行事に日本も協力できるよう、国内での幅広い活動を呼びかけています。

国際森林年とロゴマーク

国際森林年のロゴマークは、「Forests for People (人々のための森林)」という、国際森林年のテーマを伝えるものです。森林は、私たちの住む家や食べもの、水などの供給、生物多様性の保全、気候変動の緩和など様々な働きをもっています。ロゴマークのデザインには、私たちが生きていく上で欠かせない、森林の大切な役割を共に考えましょうというメッセージが込められています。

日本における国際森林年のテーマとねらい

日本では、森林のことを考えるきっかけとして、皆さんが参加しやすい「森を歩く」ことを提案しています。皆さんが森を訪れることにより、林業など地域の産業を元気にすることにもつながります。また、森林・林業の再生のためにも、関係者自らが現場の森林を歩き、現状を体感することも求めています。「森林・林業再生元年」として、「未来に向かって日本の森を活かそう」という思いを込めて、豊かな森を引き継ぎ、森に関わる人を育み、暮らしの中で木を活用する「木づかい」を広げていきましょう。



美しい森林づくり推進国民運動「フォレスト・サポーターズ」
森のための4つの活動を通して、元気な森を取り戻す運動を進めています。
www.mori-zukuri.jp/



木づかい運動

暮らしの中で国産の木製品を取り入れる「木づかい」を通して、日本の森林を元気にし、温暖化防止にも貢献する運動です。



緑の募金運動

緑の募金を通して、誰でもNPOなどによる国内外の森づくりを応援できます。



全国植樹祭・全国育樹祭

森林に対する意識を高めることを目的に、全国から参加者を得て毎年春と秋に開催される国土緑化運動の中心的な行事です。



国際森林年のイベントにみんなで参加してみよう！ ホームページで、身近な地域の活動を探してみよう

※以下はイベントの一例となります。

森にふれよう



© 2011 Peanuts Worldwide LLC

- 「木を植えた男」フレデリック・バック展 (東京都現代美術館)
- 「学校林・遊々の森」全国子どもサミットin 信州 (長野県松本市)

森をささえよう



© 2011 Peanuts Worldwide LLC

- 国際森林年記念「森を守ろう」チャリティコンサート (浜離宮朝日ホール)
- 「日本の森を元気にする」小学生作文コンクール
- 全国各地における「市民と森林をつなぐ国際森林年のつどい」シンポジウム

木をつかおう



© 2011 Peanuts Worldwide LLC

- 木づかい推進月間
- にっぽんの木100年家具コンペティション

森と暮らそう



© 2011 Peanuts Worldwide LLC

- 森を歩く・にほんの里 / 日本の自然100選フットパスツアー (奈良・奥明日香、長野・上松)
- 映画「森聞き」 (国際森林映画祭参加作品) 公演

国際生物多様性年から国際森林年へ(2010年12月石川県)

2010年は国際生物多様性年でした。10月に名古屋市で生物多様性条約COP10会合が行われ、12月には金沢市において国際生物多様性年クロージング(閉年)セレモニーが開催され、国際森林年へのブリッジング(橋渡し)が行われました。



日本における国際森林年の取組みと被災地復興支援

国際森林年の様々なイベントで、地方自治体やNGOと協力して義援金などを受け取るブースを設置。また、復興に向けての活動宣言や応援メッセージの作成、国産材を使った復興住宅の整備、防災のための海岸林の植樹事業など、震災復興に役立てていきたいと考えています。4月14日に開催された第2回国内委員会では、森林・林業に豊富な経験を持つ委員の方々から、復興に向けた様々な提案がありました。



2011 国際森林年ホームページ
http://www.iyf2011.go.jp/

- 国際森林年の概要
- イベントカレンダー
- プレスリリース
- 国内委員会による検討の状況
- 参考資料(ロゴマーク使用ガイドライン等)
- 関係機関へのリンク 等